

京ちゃん、「最終講義」へ

4年ぶりにレポートを「再開」して、4ヵ月余り経つ。この間、ほぼ毎日レポートを掲載してきた。朝早く書いて(あるいは前日に書いたものを修正して)、お世話になっている知人にアップしてもらっている。あらためて感謝したい。

「再開レポート」2回目(7月31日)のテーマは、「最終講義」と京ちゃんであった。最終講義の写真とともに、3月18日の中日新聞の発言「京ちゃん招き、最終講義」も掲載している。「京ちゃんブログ」についても、「最終講義」のことを写真付きで詳しく紹介してもらい、京ちゃんご家族の「歩み」、京ちゃんの成長を知ることができると書いた。当日いただいたご両親のコメントだけ

でなく、このブログも本当に嬉しかった。

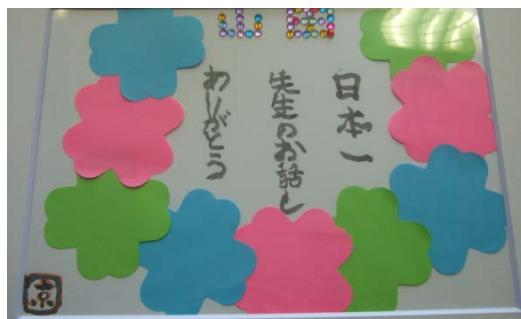
写真は「最終講義」を終えて、京ちゃんから素晴らしい色紙をプレゼントしてもらった時である。会場からの拍手もわすれられない。

上はブログ掲載、真ん中は同僚の撮影、下は京ちゃん手づくりの色紙を写真に撮ったものだ。

「日本一 先生のお話し ありがとう」と書かれている。京ちゃんのしゃれたハンコも押してある。「日本一」とは、すこし恥ずかしい。一生懸命に時間をかけて作ってくれたことが分かる色紙であり、自宅の机横に大切に飾ってある。私の生涯の「宝物」だ。

ブログには次のように書かれている。「先生の講義は私たちのような一般の人にも分かりやすく、社会をどうとらえて見ていくか、広い視野でどういった心で向き合っていくかという内容でもありました。--- 先生のお話は、専門分野にとどまらず、広い視野で学生を育てるという思いが伝わってくるものでした。私たち両親も元気をいただきました。私たちが声を上げ訴えてきた思いと共通する思いがたくさん先生の講義に込められていました。」

こんな心温まること書いていただき、「最終講義」の感激がいちだんと高まった。京ちゃんご家族に、あらためてお礼を言いたい。



(2014年12月7日)